

リハビリテーション医学

担当指導医師

●本院

教授：西村 行秀

助教：村上 英恵、西山 一成

客員教授：大井 清文

非常勤講師：中村 健、美津島 隆、上條 義一郎、佐藤 義朝

基本方針：

担当指導医のもと患者の診療に準担当医（クリニカル・クラークシップに準拠）として参加し、リハビリテーション医療を習得する。

- (1) 患者の問題点を把握し、その問題点を解決するための診察・検査・診断法とインフォームド・コンセントに沿った治療法採択を習得する。
- (2) 診察に際しては、主訴から想起すべき傷病を念頭に置いた診察手技を実行し、リハビリテーション医療が目指す機能の回復、障害の克服、活動を育むことができるような診療をおこなう。
- (3) 検査・治療に際しては、担当指導医（もしくは教育担当主任）の指導・監督下に基本的医行為に含まれる当科関連事項を可能な範囲で実践・体験する。
- (4) 実際のリハビリテーション治療の現場にも立ち会い、療法士とともにリハビリテーション治療を実践する。

実習内容：

1. 担当指導医とともに日常の医療行為に積極的に参加してもらう。実際にリハビリテーション依頼のあった患者の診察をおこない、病歴聴取、身体診察、リハビリテーション処方などについて学ぶ。
2. 教授回診に参加する。
3. 症例検討会やカンファレンスに参加する。
4. リハビリテーション医療の理解と実際
 - (1) 医療面接
 - (2) 問診、身体診察
 - (3) リハビリテーション処方の仕方
 - (4) 実際のリハビリテーション医療の実態
 - (5) 受け持ち患者の臨床経過観察
 - (6) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の多職種との交流

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	個数	使用目的
治療用機器	(2) 超音波装置	3台	除痛、血行改善
治療用機器	(3) 低周波装置	3台	除痛、血行改善、神経麻痺改善
治療用機器	(4) 肩用輪転装置	1台	肩関節可動域改善
治療用機器	(5) パラフィン浴装置	1台	除痛、血行改善、拘縮改善
治療用機器	(6) SSP 装置	1台	除痛、血流改善
治療用機器	5. リハビリテーション（室）装置 (1) ティルトテーブル	1台	起立運動補助
治療用機器	(2) 平行棒	2台	歩行運動補助
診断・治療用機器	(3) トレッドミル	2台	神経・呼吸・循環器系機能強化・評価
診断・治療用機器	(4) 固定自転車	1台	筋力強化、呼吸・循環器系機能強化・評価
治療用機器	(5) バイブラバス	1台	除痛、血流改善、拘縮改善
治療用機器	(6) ホットパック	1台	除痛、血流改善、拘縮改善
治療用機器	(7) 下肢他動矯正具	1台	拘縮改善
治療用機器	6. 連続他動関節運動（CPM）装置	数台	術後関節軟骨障害予防・関節可動域改善
視聴覚用機器	液晶テレビ	一式	臨床実習